

埼玉地連が再建 新委員長に根本英夫氏

(埼玉地連)

2012年5月19日 大宮「東天紅」で開かれました。

全自交埼玉地連の再建大会が5月19日、大宮「東天紅」で34名が参集して開きました。



旧・埼玉地連が3月11日に本部承諾もないなかで解散大会を開き、埼玉県から全自交の旗を降ろした行為に対し、全自交埼玉県ハイタク労働組合協議会として埼玉の全自交運動を牽引していた日交労大宮支部が怒り、新たに埼玉地連を立ち上げました。

冒頭、埼玉地連再建について、根本英夫再建準備委員長より経過を報告しました。「前埼玉地連が3月11日に臨時大会を開き全自交からの脱退、埼玉地連解散を決定し、今日まで埼玉地連が消滅した状態におかれまして。しかし、私たちは埼玉ハイタク労協に加盟して、陸運支局タクシー協会、警察等の政策要求交渉は行ってきました。



今回、全自交本部、関東地協の仲間に支えられ全自交埼玉地連の必要性が不可欠と判断し準備委員会を立ち上げ、200名近い仲間の賛同を得て、再建することになりました。」と経過報告がありました。来賓挨拶として全自交労連犬飼政則副委員長は「KPUは、組織問題として、他産別にも、嘘を触れ回った。また、彼らが『全国もいづれ付いてくると言ったとか、彼らは地方の面倒を見ないから、会費が安いことを掲げながら、なぜ、地方がついていくのか。あきれたことだ地方は全自交労連を支えていく。全国が、彼たちの行動を見てきたが、労働運動をせず、財政等で縛る組織とは、行動を共には出来ない。今回、埼玉地連が再建され、全自交の旗が揚がった事は喜ばしく思っています。」と挨拶をしまし

て挨拶をしまし

た。千葉地連羽原健司委員長は「関東の仲間が増え大変嬉しく思うことと、千葉地連もひとつにまとまりました。共に協力をして頑張っていきましょう。」とあいさつがありました。

茨城地本須沢道夫委員長は「旧の組織にかき回されたが、関東地協は、まとまっているので安心をしています。埼玉地連を大歓迎します。」と力強い言葉を戴きました。続いて、群馬地連柏木光義委員長より「埼玉は隣の県で親しみがあり、本当に嬉しく思っています。ともに協力していきましょう」と挨拶。山梨地連中村茂樹委員長からは「2月の関東地協再編大会が甲府で開催され感謝しています。また、埼玉地連の仲間が増えたことも嬉しく思っています。」、神奈川地連矢野武委員長は「神奈川も組織問題で嘘をつかれ苦慮しました。しかし、仲間で助け合い頑張っています。埼玉地連と共に頑張っていきたい。」と挨拶がありました。

東京地連大和田正樹委員長より「東京地連委員長としてではなく、関東地協の議長として、埼玉に全自交の旗が戻ったことは嬉しく、栃木には、旗がなくなったが、一都6県でタクシー事業法成立と組織拡大に向け頑張っていきたい。」とそれぞれに挨拶をいただきました。

役員選出では、日交労大宮支部伊藤義明書記長より、役員選出までの経過説明があり、根本英夫執行委員長と他の役員体制が承認されました。

運動方針、規約、会計予算も承認され、全自交労連伊藤実中央執行委員長より、根本英夫執行委員長に全自交埼玉地連の組合旗が、贈呈されました。

最後に、根本執行委員長の力強い団結ガンパローで全自交埼玉地連再建大会が終了しました。

